

令和5年度事業報告

令和5年4月1日～令和6年3月31日

1. 学術集会の開催

第64回日本母性衛生学会学術集会を以下のように開催した。

会場開催

(1) メインテーマ：母性衛生の夢と未来を語ろう

(2) 会長：大橋 一友

(3) 日時：学術集会：2023年10月13日(金)・14日(土)

オンデマンド配信 2023年10月16日(月)正午～11月20日(月)17:00

(4) 会場：大阪国際会議場（大阪府大阪市北区中之島5丁目3-51）

(5) 参加人数 2,819名

(6) 講演、シンポジウム、セミナーなど

敬称略

理事長講演 母体感染を再考する。	演者 正岡直樹	座長 大橋一友
会長講演 海外の医療現場でふと思ったこと	演者 大橋一友	座長 金子政時
特別講演（4演題） 心筋再生医療の現状と展望	演者 澤 芳樹	座長 菅沼信彦
新型コロナウイルス感染症 3年を振り返って	演者 忽那賢志	座長 関博之
わかりあえないことから ―コミュニケーション能力とは何か―	演者 平田オリザ	座長 渡邊浩子
セクシュアルリプロダクティブヘルス・ライツの原点としての母性衛生	演者 木村 正	座長 宮坂尚幸
教育講演（7演題） 「かわいい」の科学	演者 入戸野宏	座長 小川久貴子
サステナブルな産婦人科救急体制構築 ―産婦人科診療互助援助システム（OGCS）を中心に―	演者 光田信明	座長 西口富三
母子手帳を通じた国際母子保健の夢と未来	演者 中村安秀	座長 北村邦夫
看護職の働き方改革	演者 高橋弘枝	座長 遠藤俊子
胎児心拍数モニタリングの歴史と未来	演者 村田雄二	座長 下屋浩一郎
母乳育児の世論を含めた現状と今後の課題	演者 河合 蘭	座長 松崎政代
男性が当たり前育児ができる社会を ―父親支援の今―	演者 小崎恭弘	座長 藤井ひろみ

シンポジウム（5演題）

	演者
高年妊産婦支援の未来（コーディネーター 富松拓治）	
後悔のないリプロダクティブライフプラン	足立朋子
キャリアパスを考えた生殖医療	菊地 盤
高年妊産婦の安心安全な妊娠期を支える医療	金川武司
高年出産後の子育て支援—エビデンスを味方に—	前原邦江

子宮頸がん撲滅の未来戦略（コーディネーター 上田 豊）	
本邦における子宮頸がんの動向予測	榊原敦子
HPV ワクチンによる子宮頸がん予防の現状と課題	八木麻未
AI の子宮頸がん診療への応用	宮木康成
子宮頸がんに対する内視鏡手術の未来	小林栄仁

アジアの母性衛生の夢と未来

Prospective postpartum midwifery in Asia (Coordinator, Emiko Suzui)

Breastfeeding Promotion and Support for Women with Preterm Birth: Maharaj Nakorn Chiang Mai Hospital. Venus Jansangri

Prospective postpartum midwifery in Taiwan: Enhancing Interdisciplinary Maternity Care in Hospital Settings Shu-Fang Wang

Postpartum care in South Korea: Now and the future. Jeongok Park

Midwifery practice required for the future of postpartum care in Japan. Akemi Mochizuki

科学で育児を支える（コーディネーター 谷池雅子）

発達早期の社会的学習 鹿子木康弘

マルチリトメントが与える脳への影響と親子を支えるペアレントトレーニング 矢尾明子

早産児の睡眠発達と育児支援 吉村優子

幼児の眠りと子育てを支える双方向性アプリ“ねんねナビ”の社会実装から見た現代の育児の困難感
吉崎亜里香

出生前診断から胎児治療へ（コーディネーター 遠藤誠之）

出生前診断 ブラックボックスは何処まで明らかになってきたのか？レオポルド法と AI 松岡 隆

胎児治療の現状と将来 左合治彦

出生前診断で思いがけない診断をうけた妊婦・家族へのグリーフケア 管生聖子

出生前診断に関する医療機関や行政以外における支援の構築及び必要性について 原田奈美

オンラインセミナー（10演題）

	演者	座長
新生児のフィジカルアセスメント	田中太平	井關敦子
母体急変を見抜くコツ 産科エマージェンシー臨床推論		

	望月礼子	酒井ひろ子
「妊娠・分娩と薬剤」「授乳と薬剤」について知っておきたいこと		
	濱田洋実	葉久真理
妊娠と糖尿病	杉山 隆	山田加奈子
検証：果たして私は教育をしたのか	阿部智子	嶋澤恭子
災害時対応	中根直子	白石三恵
ヘルスリテラシーとその人らしい意思決定の支援		
	中山和弘	西村明子
多様な性のあり方と法政策の課題	谷口洋幸	藤井ひろみ
不妊・不育の悩みを持つ女性の支援	村上貴美子	上澤悦子
女性・子どもへの暴力とその影響—性犯罪に対する大阪府警の取り組みを通して—		
	坂本千奈津	鈴井江三子
	鈴井江三子	
市民公開講座（2講座）	演者	座長
ごきげんさんで生きていくために 一人権とリプロダクティブ・ライツ—		
	谷口真由美	中塚幹也
ママが笑顔で母乳育児をするために知ってもらいたいお話し		
	Paula Meier	加藤育子

(7) 一般演題 359 演題 口演 212 演題 (内、コメディカル愛育賞候補 10 演題)

2. 機関誌及び図書 の 刊 行

本会の機関誌は今年度よりオンラインジャーナル化し、会員はホームページの会員マイページより無償にて閲覧できる。

非会員においては、株式会社メテオ(メディカルオンライン)、国立研究開発法人 科学技術振興機構、医学中央雑誌刊行会、日本医薬情報センター附属図書館、株式会社医薬情報ネットを通じて閲覧できるとともに、本会事務局への申し込みで個々に受付け閲覧できるようにしている。

また、EBSCO に情報提供している。

オンラインジャーナルは以下のように掲載した。

(1) 64 巻 1 号

シンポジウム

第 63 回日本母性衛生学会学術集会シンポジウム

- [1] 災害と周産期医療 山本あい子, 吉沢豊予子
- [2] With コロナ期の母子の健康を守る 菅沼信彦, 大賀明子
- [3] 助産師としての活躍の場はどこまで広がるか 北村邦夫, 岡本喜代子
- [4] 母と子の地域包括支援システムと助産師 米山万里枝, 金子政時

原 著

1. 新生児期のおむつ皮膚炎の発症に関連する要因の検討
—保清・スキンケアと皮膚バリア機能に焦点を当てて— 森下麗華, 他
2. 看護職の月経随伴症状に対する保健行動への影響要因
—月経随伴症状に対する保健行動因果モデルの検討— 八巻ちひろ, 他
3. 妊婦および授乳中の女性に対するコロナワクチン接種の意思決定エイド:
日本語版の開発 宍戸 恵理, 他
4. 大学生における月経前症候群, 月経前不快気分障害の実態とその影響 本田朋香, 他
5. 清拭素材の特性がヘアレスマウスの皮膚バリア機能に与える影響 森 楓, 他
6. 妊娠糖尿病既往女性の健康行動の構成要素
—食生活と耐糖能検査の受検に焦点をあてて— 山波真理, 他
7. 新生児を養育している父親の抑うつの実態と関連要因
—妊娠後期から産後1か月までの縦断研究— 田村秀子, 他
8. Covid-19による周囲との交流制限下における, 児がNICU・GCUに入院中の
母親の搾乳体験 上田 皐月, 他 68
9. 月経に対する主観項目と教育を受けた場所および内容との関係 福重杏梨, 他
10. 母親の低用量経口避妊薬に関する知識習得状況と子どもの低用量経口避妊薬使用
ならびに月経前症候群, 月経困難症に対する認識 末次理莉子, 他
11. 助産師教育課程における助産学実習の特徴
—助産師以外の資格取得に関わる専門職教育と比較して— 瀬谷絵莉佳
12. 高校3年生女子における月経を正常に保つための予防・改善行動に関連する要因
鈴木水悠, 他
13. 産後のストレス状態と「愛着-養育バランス」尺度との関連 吉中富士美, 他
14. 未治療時期のFtM (Female to Male) の思春期から結婚に至る体験とその構造
井關敦子, 他
15. 子育て世代包括支援センターの保健師による精神疾患合併妊産婦への支援と
助産師との連携 深見美希, 他
16. 親からの手段的サポートが少ない産後を切り抜けた母親の体験 王丸真知子, 他
17. 北海道の救急隊員訓練生に対する病院前周産期演習の評価
—演習改良前後の比較— 植木 瞳, 他

研究報告

1. 低出生体重児の父親の真情
—児がNICU入院中の父親の体験より— 箕口ゆう子, 他
2. 出産施設退院後から出産後1年までの母親の産後のサポート状況
—産後の実態調査における自由記述から— 神谷 摂子
3. 自閉症スペクトラムと類似した特性を持つ妊産褥婦に対する助産師の支援
山崎 真依, 他
4. 病院勤務助産師の卒乳に関する認識とその関連要因 藤野 幸枝, 他
5. 妊娠前・妊娠判明後の口腔ケアの実態および歯周病に関連する要因の検討
坂井 (小林) 美緒, 他

6. 妊産婦のメンタルヘルス支援における多職種連携に関する文献検討 小林后, 他
7. COVID-19 の流行による関東大都市圏の妊婦の生活と健康に対する影響
西俣安希子, 他
8. 添い寝・添え乳に起因した乳児窒息死に関する実態
—滋賀県の法医剖検例による検討— 中野 美夏, 他
9. 妊婦健診に携わる看護職の e-learning による冷え症教育プログラム受講者の声
中村 幸代, 他
10. 女性がんサバイバーの妊孕性支援の助産師介入に関する医師・看護師・助産師の認識
那須 明美

学習コーナー

- ・ 2) 緊急避妊薬を巡る最新の話 北村邦夫
- ・ 不妊治療の保険適用による変化 (2)
— 生殖補助医療編 黄 海鵬, 高井 泰
- ・ HPV ワクチンについて①
～HPV と子宮頸がん, HPV ワクチンについて～ 宮城悦子

(2) 64 巻 2 号

原著

1. COVID-19 禍での妊産婦・母子保健活動に携わった助産師の活動の変化と生じていた感情
巖 千晶, 他
2. 妊婦の理想とする性行動と実際に経験した性行動の比較 齊藤裕佳, 他
3. 新生児期における沐浴ならびにシャワー浴が皮膚に及ぼす影響 中島陽子, 他
4. 妊娠後期と産後 1 か月時の骨盤底自覚症状の実態と変化:
骨盤底困窮度質問票日本語版 (J-PFDI-20) による検討 吉岡なつ美, 他
5. 性犯罪に遭うことが危惧される障がいのある子どもの行動
—特別支援学校と放課後等デイサービスの教職員の観点から— 市戸優人, 他
6. 産後早期の授乳前後の唾液オキシトシン濃度及びその変化と産後早期及び産後 1 か月の
抑うつ・対児愛着との関連 正岡真子, 他
7. COVID-19 感染拡大下での出産・産後サポート状況と母親の児への愛着形成との関連
小平明日香, 他
8. 新型コロナウイルス感染症蔓延状況に伴う乳幼児を育児中の親における仕事と家庭の
役割葛藤の関連要因 吉村小春, 他

研究報告

1. 父親と母親の胎児ボンディング障害の実態 藤原弘子, 他
2. 妊産褥婦の性生活に関する保健指導についての勤務助産師の認識 今村久美子, 他
3. NICU における母子の初回面会時に産科看護職が行う母親への看護介入についての検討
鈴木美恵子, 他
4. 産後の腰痛に対する骨盤ベルト装着と鍼治療併用との比較試験 辻内敬子, 他

5. 青年期女性におけるビタミン D に関する行動と血中 25OHD 濃度との関連
和田 紗英, 他
6. 「乳幼児を育てる母親の余裕」の概念分析
萩原 結花, 他
7. 小規模離島の女性と夫が語る島外出産という経験
—本土で待機した経験と島内で待機した経験の比較—
杉山 七歩, 他
8. 同期型オンラインを使用した産前産後支援を実践している地域助産師の活動に対する認識
惠良真理子, 他
9. 母性看護学実習における授乳場面での学生の体験
宮野 三奈, 他
10. 性同一性障害に対する高校教員と高校生の意識と取り組みに関する研究
木下理映子, 他
11. 母性看護学実習における生命倫理学習プログラムの効果
—視聴覚教材を利用した学内実習の学び—
西岡 啓子, 他
12. 母性看護学における母子の災害看護の教育の実態及び災害看護学との連携に関する調査研究
—母性看護学教員（大学）への質問紙調査結果から—
久我原朋子, 他
13. 離島で働く助産師に必要な能力 —インタビュー調査より—
新井 恵理, 他

学習コーナー

- ・ 3) 開発が進む新しい緊急避妊法とは 北村 邦夫
- ・ 不妊治療の保険適用による変化 (3)
—先進医療編 黄 海鵬, 高井 泰
- ・ HPV ワクチンについて②
～HPV ワクチンの効果と安全性について～ 宮城 悦子

(3) 64 巻 3 号

第 64 回日本母性衛生学会学術集会抄録集

(4) 64 巻 4 号

原著

1. 看護学生の視座から捉えた助産学生による
性のピアエデュケーションの教育的効果の検討 中島久美子, 他
2. アニメーションを活用した小学生向け性暴力予防学習教材の効果 永松 美雪, 他
3. 産科診療所に勤務する看護職者の新生児蘇生に関する実践経験と技術能力 佐藤 晶, 他
4. 射乳反射の自覚がある母親の産後 1 か月までの母乳不足感の体験 堀田 江理, 他
5. 赤ちゃんにやさしい病院におけるコロナ禍での母乳育児支援の変化に対し助産師が感じていること
倉田 真衣, 他
6. 月経周期に伴う女性ホルモンと月経周辺期症状との関連 藤田小矢香
7. 帝王切開を受ける女性の体験における覚悟と納得のプロセスの測定尺度作成の試み
下里志寿子, 他
8. 思いがけない妊娠をした妊婦支援のフレームワーク作成に向けた基礎的研究
—妊娠届を提出しなかった（できなかった）孤立妊婦への助産師の関わりから—
山本美由紀, 他
9. 妊娠リスクスコア高リスク妊産婦の分娩結果から見た院内助産対象基準の後方視的検討

中村 友美, 他

10. NICU 患児に対する母親の関わりと産後抑うつ傾向の関連 村上 朋恵, 他
11. COVID-19 流行下における妊婦の疲労感の実態とその関連要因 山田 健代, 他
12. 性に関する教育における小学校教員と助産師の協働に向けての方策の検討
野々山英里, 他
13. A病院における計画無痛分娩の実態について 津田 充子, 他
14. 看護系大学生における DOHaD 説の認知の有無と体型意識および健康管理能力の関連
井上みやび, 他
15. 小児科診療所で働く助産師の思い 尾辻真理子, 他
16. 地域の開業助産師による妊婦訪問の意義
—訪問を利用した母親への面接調査を通して— 小島さやか, 他
17. 母親の産後ケアニーズを構成する因子の検討と特徴 宇都宮美加, 他
18. 助産師基礎教育に必要となる硬膜外麻酔分娩に関する教育内容の抽出 星 貴江, 他
19. 2~3 か月の乳児と母親の寝床内気候・睡眠の比較 角田八千代, 他 611
20. 初産婦の産後 4 か月における育児サポート資源利用および夫との育児の実態 木下千紗都, 他
21. 乳幼児の養育者のアタッチメント・スタイルと援助要請との関連における
セルフ・コンパッションの調整効果の検討 松尾真規子, 他

研究報告

1. 日本における「育児期の親のエンパワメント」の概念分析 片岡優華, 他
2. 初産の双胎妊婦が行う家族内役割調整と産後 1 か月までの育児サポートの実際
—育児スケジュール表の作成を通して— 小池久美子, 他
3. 学生のライフキャリアとプレコンセプションケアの意識・知識の実態 稲田千晴, 他
4. 思春期学生の妊娠への対応における問題点：大学生を対象とした質問紙調査 原 蘭 和圭, 他
5. 就労妊婦が抱く身体活動への思いと行動 山本英子, 他
6. ローリスク産婦における非妊時の運動経験の有無と分娩アウトカムとの関連 中川 愛, 他
7. 妊婦における産後ケア事業の認知度および利用への意識 佐々木 萌, 他
8. 大学病院所属助産師の出向経験を通して抱いた思い 小寺 由理, 他
9. 助産所における出産体験の振り返りの実践内容：構成因子の探索 萩原 涼葉, 他
10. 第 1 子妊娠時に離職した妊婦の思いに関する研究 久司留理子
11. 妊産婦急変時の多職種連携における看護職者の体験 樋口えりか, 他
12. 妊産婦における抗酸化力と主観的な気分との関連 鷺尾 弘枝
13. 不妊治療の受療者における治療終結の意思決定要因のレビュー 朝澤恭子, 他
14. 初産で無痛分娩を選択する女性の意思決定プロセス 座波ゆかり, 他
15. 統合失調症をもつ妊産褥婦への支援方法に関する文献検討 金内 里美, 他
16. 生後 4 か月児をもつ母親の災害時における授乳行動に関する知識と備えの実態 岡田美都, 他
17. 新型コロナウイルス感染症流行下における妊婦の不安と困惑の状況
—ソーシャルメディアへの投稿内容の分析— 井田歩美, 他

学習コーナー

- ・HPV ワクチンについて③

～HPV ワクチン接種勧奨再開後の動向と子宮頸がん予防の最新情報～ 宮城悦子

- ・「働き方改革」について 第1部

国全体としての働き方改革への取組 海野信也

3. 母性衛生の啓発普及、関連諸団体との連携

(1) 市民公開講座

①開催日：令和5年10月14日 場所：大阪国際会議場（2講座）

- ・ごきげんさんで生きていくために 一人権とリプロダクティブ・ライツ

演者：谷口真由美 座長：中塚幹也

- ・ママが笑顔で母乳育児をするために知ってもらいたいお話し

演者：Paula Meier 座長：加藤育子

②開催日：令和6年2月16日 場所：イオンコンパス八重洲会議室 Room-B（東京都）

「人工妊娠中絶の分岐点：経口中絶薬という選択」

主催者挨拶 公益社団法人日本母性衛生学会常務理事

岡山大学学術研究院保健学域教授 中塚 幹也

座長 公益社団法人日本母性衛生学会常務理事

神奈川県立保健福祉大学学長 村上 明美

講演1. 経口中絶薬「メフィーゴパック」の位置づけ 女性ライフクリニック理事長 対馬ルリ子

講演2. 経口中絶薬使用時の看護の実際 女性ライフクリニック看護師長 鯨井貴與子

講演3. 人工妊娠中絶時のメンタルケア 駒沢女子大学看護学部教授 杵淵恵美子

4. 質疑応答

(2) 都道府県母性衛生学会代表者懇談会

開催日：令和5年10月14日 場所：大阪国際会議場

各都道府県母性衛生学会代表者が参加し、各都道府県の活動について話した。

(3) 後援

- ・神奈川母性衛生学会からの第37回学術集会

(4) 全国公衆衛生関連学協会連絡協議会

- ・総会（5月WEB、3月会場）出席（令和5年5月25日、令和6年3月16日）

(5) 第23回健やか親子21推進協議会総会出席（令和5年11月8日）

(6) 動画配信：①第64回学術集会 オンデマンド配信

2023年10月16日(月)正午～11月20日(月)17:00

②2023年度公開講座 「人工妊娠中絶の分岐点経口中絶薬という選択」

4. 母性保健に係わる公開講座の助成

- ・令和5年度の第1回目、2回目ともに応募はなかった。

5. 各種広告・宣伝に関する事業

- ・株式会社未来からの広告をホームページに継続掲載（1年間）
- ・太陽生命保険株式会社からの広告をホームページに継続掲載（1年間）
- ・公益財団法人 日本医療機能評価機構からの広告をホームページに継続掲載（1年間）
- ・持田ヘルスケア株式会社からの広告をホームページに継続掲載（3ヶ月）

6. 会員相互扶助に関する事業

(1) 学術優秀賞及び奨励賞の論文の選考

- ・学術論文優秀賞及び奨励賞の授与

学術論文優秀賞

題名：平均赤血球容積（mean corpuscular volume：MCV）を指標にした妊産褥婦の鉄欠乏性貧血の実態と産褥1か月の鉄欠乏性貧血の影響要因

著者：北川加奈子、波崎 由美子

掲載：63巻4号

学術論文奨励賞

題名：産後うつ病に対する妊娠期の予防的介入の実施状況と実施に影響を与える因子に関する検討

著者：竹内瑞季、蝦名康彦

掲載：63巻4号

- ・優秀演題賞の授与

コメディカル愛育賞

- ・題名：生後早期の乳児の夜間睡眠の発達と産前産後の母親の精神健康状態との関係

著者：熊谷真愉子、篠原ひとみ、成田好美、工藤直子、菊地麻里、兒玉英也

掲載：64巻3号

- ・題名：職場の環境が子供をもつ既婚女性労働者の次子希望と健康度に与える影響に関する質問紙調査

著者：白川美歩、金子政時、山崎圭子、松岡あやか

掲載：64巻3号

(2) 名誉会員・功労会員の表彰

以下の名誉会員4名、功労会員3名が承認された。

名誉会員 遠藤俊子、北村邦夫、佐々木純一、菅沼信彦

功労会員 古山将康、中尾優子、吉沢豊予子

(3) 慶弔費

今年度は該当がなかった。

(4) 研修会及び講習会による教育支援及び認定

①認定制度規程および規程細則を作成し、認定制度名を日本母性衛生学会エビデンス・ベースド・プラクティショナー（Japan Society of Maternal Health Evidence Based Practitioner 略称：JSMHEBP）とした。

②2023年10月13日、14日第64回日本母性衛生学会学術集会で認定制度のオリエンテーションならびに指定プログラムを実施した。

③第1回JSMHEBP研修プログラムとして「研究の基礎に関する科目」12本、「周産期メンタルヘルスに関する科目」9本、「周産期ハイリスクに関する科目」14本のe-learnig動画教材を作成し2024年1月10日～2024年4月15日までの期限でe-learnig動画を配信した。

なお、第1回JSMHEBP研修プログラムの申込者総数は82名であった。

また、2024年度にCBT（Computer Based Testing）による第1回最終試験の実施を予定しており、引き続き会員の教育支援を行う。